



がんばってます Vol.38

新着任の医師紹介

日々頑張っている仲間たちの姿を通して友愛記念病院を紹介するこのコーナー。
第38回の今回は、今年度に着任された新しい先生方をご紹介します。



ご挨拶



本年4月から友愛記念病院に赴任しました小児科の横山です。よろしくお願いいたします。3月までは栃木県の自治医科大学に勤務し、小児消化器疾患をメインに診療を行っていましたが、この度、縁あってこちらにお世話になることになりました。

私は鹿児島県出身であり、大学卒業後は本土最南端に位置する佐多岬や奄美大島などで離島へき地医療に従事していました。佐多町(現南大隅町)では、地元の方に良くしていただき、多くの地域行事にも参加させていただきました。奄美大島では、豊かな自然に囲まれ、離島のゆったりとした生活を実感することができました。町内のソフトボール大会で優勝したのも良い思い出です。研修させていただいた大学病院や県立病院では、小児科医としての礎を築かせていただきました。

本格的に小児科医として働きだしたのは自治医大からとなりますが、自治医大では多くの症例を経験することができました。最近では自分の専門領域以外の疾患を診ることが少なくなりましたが、これまでの経験を活かし、地域の小児医療に少しでも貢献できればと考えています。



小児科
横山 孝二 先生

Q

趣味

ゴルフと野球ですが、ゴルフは年に1~2回程度のラウンドのみであり、この2年間はクラブも触っていません。野球は、学生時代は準硬式野球部に所属していました。子どもが小学生の頃は少年野球チームの監督をやったりもしましたが、最近ではもっぱら子どもの野球の試合を観戦して楽しんでいます。

Q

今後の目標

「友愛記念病院で診てもらえば大丈夫」と、子どもたちやその保護者の方から信頼されるような小児科医を目指しています。

Q

小児科医として大切にしていること

子どもは自分の意思で病院に来ていることは少なく、検査に関しても保護者の方が納得すれば、本人の了承の有無に関わらず血液検査やX線検査を行うこととなります。特に乳幼児では、何をされるか分からないまま処置室に連れていかれ、採血や点滴をされることとなります。そのため、侵襲や被曝を伴う検査では、とりあえず検査するというスタンスではなく、検査の意義を自分なりに納得できるものに絞るように努めています。

患者さん(保護者の方)へのメッセージ

病気のことや健康のことで心配なことがあれば、どんな些細なことでも構いませんのでいつでも受診(相談)してください。